

## 水産B

〔例題1〕 生物の種類に関する次の文章の空欄ア～オに該当する語として妥当なものはどれか。下記の語群 a～l から選び、記号で答えよ。

種の定義によって生物を区分し、類縁の程度によってグループにまとめていくことをアという。そして、生物の進化の系統と遺伝的類縁関係を考慮に入れて整理することを自然アといい、18世紀にスウェーデンの博物学者イによって、その基礎が作られた。

イは各々の生物種にウを付けて区分し、ウはエと種小名を連記する二名法に従って表記するように提唱した。

ウはオによって命名法が定められていて、ラテン語かあるいはラテン語化した言葉を用い、イタリック体で表記することになっている。

### 【語群】

a. 標準和名	b. 国際命名規約	c. ワトソン	d. 学名
e. リンネ	f. 国連海洋法条約	g. 分類	h. 科名
i. 記載	j. サイテス	k. 属名	l. 新種

### 【解答欄】

ア	イ	ウ	エ	オ
g	e	d	k	b

## 水産B

〔例題2〕 干潟に関する次の文章の空欄ア～オに該当する語として妥当なのはどれか。  
下記の語群 a～mから選び、記号で答えよ。

干潟は二枚貝などの主要な漁場であるだけでなく、魚介類幼期の保育場として水産資源の再生産に大きな役割を担う  機能のほか、  機能や、浸食抑制による景観維持機能など多様な機能を有する。

機能として、二枚貝などの  による有機物除去や、微細藻類などによる栄養塩類吸収があり、富栄養化を防いでいる。

北海道内では、アサリの増殖を図るために人工干潟の造成が行われている。造成に当たっては干出時間が着底貝の出現状況に大きく影響することが示唆されているため、  に留意する必要がある。

また、地盤が硬化して二枚貝の生息に適さなくなった干潟面を軟化するため、農業用機械などを用いた  など実施されている。

### 【語群】

a. 食物連鎖	b. 生物生産	c. 親水	d. 水質浄化
e. 匍匐運動	f. 呼吸	g. 濾過摂餌	h. 透水性
i. 地盤高	j. 施工性	k. 客土	l. 耕うん
m. 作濤			

### 【解答欄】

ア	イ	ウ	エ	オ
b	d	g	i	l